

骨子

題意：介護機器の開発の課題 具体例 アシストスーツ（アクチュエータ搭載外骨格タイプ）
キーワード：介護者と被介護者双方の多様なニーズ、最新技術の活用

課題①：多様な要求への対応
観点：多様性
問題：最小公約数的な製品
キーワード：

解決策①：モジュール化
現状：
工夫：メイン骨格フレームのプラットフォーム化
キーワード：

リスク：共有できない。
対応：アタッチメント、ID切り替え、制御パラメータの入れ替え

課題②：安全性の向上
観点：安全性
問題：介護専任者以外の使用
キーワード：

解決策②：QFDの活用
現状：
工夫：デザイン思考
キーワード：

リスク：状況の変化
対応：リカレントサービス

課題③：リカレントサービス化
観点：持続性
問題：状況の変化に応じたサービスにしたい
キーワード：

解決策③：付加製造の活用
現状：均一化
工夫：AM製造技術
キーワード：

対応：リカレントサービス

最重要：多様性対応
理由：ニーズにこたえられないと競争力が確保できず普及しない